

# 伊自良氏の歴史

福井支部 梅田 秀彦

伊自良館跡伝承地は、福井市中手にあり、朝倉氏より古い中世の豪族である。

萩の花がいつぱい咲いていたので「お萩の館」という通称で呼ばれている。「館」(豪族の屋敷の跡)には「老ノ坪」(条理制の最初の田の跡)、「庵の山」(庵寺か、尼寺の跡)といった名が残されている。

伊自良氏は藤原氏系の豪族で、関東の宇都宮氏の出身であるという。

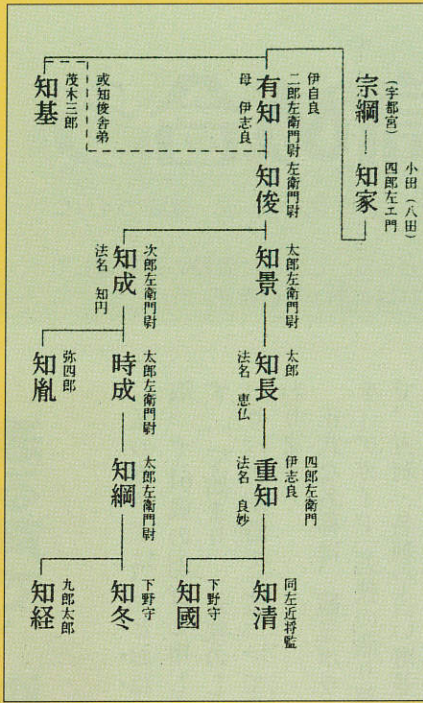
下野国の名族宇都宮氏は、藤原氏の嫡流道兼の孫、兼房の子宗円に始まるとされる。

しかし、「尊卑分脈(南北朝時代の洞院公定が編纂)には宗円の子宗綱のところに「中原宗家の子」という注記を付しており、中原氏の出身とするほうが妥当か。

宇都宮氏を称してから三代目朝綱の弟知家(筑後守)の二男有知から、「伊自良氏」を名乗った。

有知が承久の乱の勲功で美濃の伊自良庄の地頭職を得たという説と、有知は老いていて上曾忽名の魔界に入り、

## 伊自良氏の系譜(尊卑分脈)



## 地域の宝を 守り 伝える!

各地域には豊かな自然、貴重な生き物、民話、古典芸能、伝統行事等の宝がある。これらを守り伝え、地域貢献・地域創生を生きがいに取り組まれている会員の活動を紹介します。



(栃木県 芳賀郡益子町)

氏はその地頭代となった。

時頼は鎌倉を動かなかったため、地頭代でも力があつた。

知俊山狩りの時、部子、志目幾連山に向かつて座禅する寂円禅師に会い、その修業の厳肅真剣なるに感激

し、転迷開悟のきざしを得たので弟子となり真空沙弥と名づけられた。

味見谷とその坐禅谷とは峯一つの境である。真空は一宇草創を申し出、禅師は諾された。

禅師を開山とし、寺名を薦福山宝慶寺と命名された。伊自良氏活躍の始まりである。

山中に隠れ狸内長楽寺の住職になったとされる説がある。よって、美濃国伊自良庄の地頭職を得たのはその子の知俊であつたと言う。

知俊も10年程務め、長男の知景に地頭職を譲り、弟知成以下を連れて越前に入った。

時に北條時頼が越前大野の地頭職をもっていたので、伊自良

## きてみねの

## ご当地紹介

## 伊自良温泉

伊自良の館跡そばには、脳卒中に効く湯として知られる天然温泉の伊自良温泉がある。

福井市中心部からは車で約40分。池田町に向かう途中の西河原で左に折れ、国道476号線を大野市に向かつて進む。

山あいの道を5分くらい進むと、次第に視野が広がり盆地に出る。その中央に位置する中手町に伊自良温泉がある。

山あいの静かな場所、のんびりと入浴を楽しめる。また春の緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、窓外に広がる自然の景色を楽しむのも趣があつていい。

さらに「美肌の湯」とも言われる弱アルカリ性低温泉で、入浴後には肌がつるつる。お肌が気になる女性にお勧めしたい。



T T Tサークル活動紹介 4

# T つどい・T 愉しみ・T 高め合おう

退職後、気の合う仲間が「つどい・愉しみ・高め合い(T・T・T)」ながら、創作やスポーツ、健康づくりに取り組んでいる会員がたくさんおられます。

「人生を味わうー広がり&深まりー」を活動スローガンに掲げている県退教として、こうした会員の声を通して活動の様子をシリーズで紹介し、より「豊かで充実した生活づくり」につながればと願っています。

## 通る声で、ゆっくと

小浜支部 羽野 二郎

私のガイドは、「とおねん取って61歳の羽野と申しませ。」で始まり、「若狭のしゃべりべの羽野でした。」で終わります。

正式な名称は、観光ボランティアガイド「若狭の語り部」で、古刹・名刹や古い町並みなどを案内するのが主な活動です。歴史のこと、寺社仏閣のこと、仏像のことなど、それなりに知識を蓄えておく必要があります。脳老化進行遅延に役立っているのではないかと思っています。

60歳を超えた熟年の夫婦の相伴をしてお寺巡りをすると、年齢がそう離れていないこともあり、ゆつたりとガイドすることができず。

たまたま、小学生のまち探検や中学生の社会見学に同行することがあります。その時は昔取った杵柄、あっという間に教職に

あつた自分に戻り、子ども相手の語り口になります。語り部をやっている良かったなあと思う瞬間です。  
心がけているのは、「通る声、わかりやすい言葉でゆっくと語り部のこと」・「終わりの時間を守ること」です。何か似ているとは思いませんか。



梅田雲濱先生の碑の前で

## 一乗谷川に再びホタルを

福井支部 吉田 文武



ホタル鑑賞会

など全くの無知でした。

養殖は、試行錯誤と失敗の連続でしたが、遂に成功することができました。昭和52年6月、前年9月に放流した幼虫が生き延びて、池の周辺を飛び交う光景を初めて目にしました。会員一同、新たな勇気をもたらった大きな出来事でした。そして、毎年6月に開催する「ホタル祭」は、一乗谷ホタルの里、初夏の風物詩となりました。

ところが、平成16年、「第25回ホタル祭」を終えた約1ヵ月後の7月18日、福井豪雨が発生しました。これまで大切に育ててきた「ホタル」と「祭の資材」を一瞬にして失ってしまいました。現在は、養殖に再挑戦して来た結果、多くのホタルが飛び交うようになりました。今年、「第7回源氏ボタル鑑賞会」を実施したところです。

一乗谷朝倉氏遺跡が、昭和46年に国の特別史跡に格上げ指定されて、一乗谷を訪れる観光客が多くなった頃、私たちは、「一乗谷川にゲンジボタルを呼び戻そう」と取り組みを始めました。当時、私たちはホタルについて、オスメスの区別や幼虫が食べる餌

# 日本海地誌調査研究会

敦賀支部 繁田 良二

私がお世話している日本海地誌調査研究会は、平成7年、敦賀市に関連する日本海沿岸各地の地理や歴史を調査研究しようと設立された。

現在の会員は28名で、職歴は教員、市職員、国鉄職員、医師、会社役員等様々である。活動は、年6回研修会をもち、年度末には会員の研究論文を数点ずつ集録し、会誌として発行することである。平成19年には、ユダヤ人が敦賀に上陸した様子を見た人

たちの話を会員が手分けして聞き取り、集録して「人道の港敦賀」として発刊した。

今年、会設立20周年に当たるので、9月20日に敦賀市立博物館と共催で研究発表会を行った。私は会の20年のあゆみについて話し、その後二人の会員に「敦賀港におけるユダヤ避難民上陸事件に関する一考察」と「敦賀が生んだ高島屋百貨店の始祖飯田新七」という演題で研究発表を

してもらった。今後、地道な研究を積み重ねていきたいと思っている。



日本海地誌調査研究会 研究発表会  
発表者 繁田 良二  
1. 敦賀港に上陸したユダヤ人  
2. 敦賀港に上陸したユダヤ人



ラン  
レリオカトレリア  
乾 昭治氏  
(福井支部)

## マイナンバー

赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住む全ての人に番号をつける「マイナンバー制度」の通知が10月から始まった。

税や社会保障等の個人情報を一元管理する制度。個人情報の漏えいやプライバシー侵害等が非常に心配される。次のことに気をつけましょう。

- 情報が盗まれないようにする
- ・マイナンバーが記載されたカードや書類を放置しない。
- ・書類を廃棄するときも注意。
- ・カードのコピーに注意。顔写真のある表面はいいが、裏面はダメ。
- 他人に知らせない
- ・定められた目的以外で他人に教えない。
- ※困ったことが生じたら、コールセンター(24時間受付)に電話(0120-95-0178)

### 御 ◆平和を求め ◆署名 ◆教育をよくする ◆礼

#### ご協力ありがとうございました

#### ◆教育請願署名 県議会議長に提出

県退教の重要な活動の一つ「福井の教育をよくする教育条件整備の請願署名」は、9月15日から1ヶ月間、各支部単位で取り組まれ、昨年度とほぼ同数の7370筆が集まりました。皆様の心温まるご協力に感謝申し上げます。県退教および他の5団体集約分を合わせた7万1千筆余の請願署名を、11月18日に大久保衛県議会副議長に提出してきました。

山本正雄組織内議員をはじめとする賛同の諸会派議員同席のもと、教育現場の窮状を説明し、請願3項目を教育政策に反映するように訴えました。今後、請願項目が政策として具現化されるか、注視していきます。

#### ◆戦争をさせない全国署名 国会へ働きかけ

「教え子を再び戦場へ送るな」のスローガンのもと、「戦争をさせない全国署名」(第2次集約)を8月中、各支部にお願いしたところ、2445筆と昨年の倍近くの署名が集まりました。

特別秘密保護法に始まり、安保関連法案の強引な成立、改憲へ向けての動きなど、安倍政権の一連の動きに将来への不安・恐怖を抱いている人が増えていることは明らかです。

今日や明日、戦争に巻き込まれることはなくても、子や孫の代に禍根を残さないよう、これからも声を上げ続けていきたいと思います。



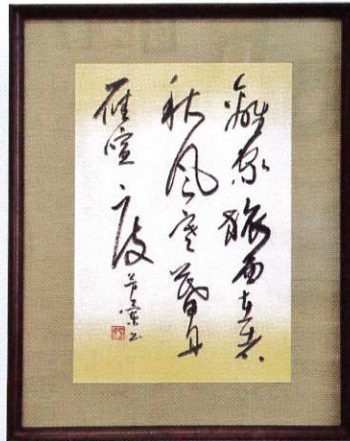
安保法案反対の国会前行動  
「日退教通信」NO359より



# 県退教ミニギャラリー作品より



水彩画 「過ぎゆく時のメモリー」  
渡辺美美子氏 (福井支部)

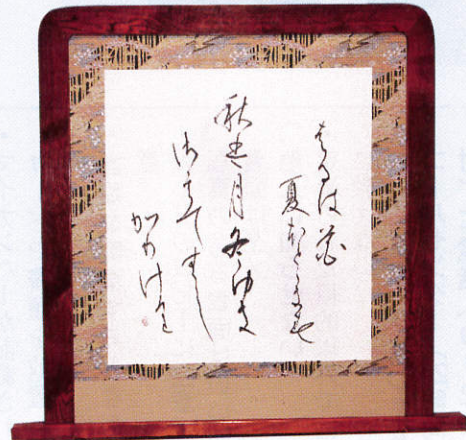


ちぎり絵 「富士と秋桜」  
森玲子氏 (福井支部)



手芸 パッチワーク「静寂」  
藤森千里子氏 (福井支部)

書 「羈旅作」  
板垣朋子氏 (坂井支部)



書 「春は花」  
栗澤花子氏 (福井支部)

◎心に残る作品が出品されています。近くへお越しの折はぜひご鑑賞ください。

◎絵画・写真・工芸品  
手芸品・書・短歌俳句等お気軽に出品ください。ご連絡は県退教へ。



## ミニギャラリー 作品募集

今秋は、ニュースなどで「一億総活躍社会」「TPP大筋合意」「マイナンバー制度」という言葉をよく耳にしました。今後、私たちの身近なところでもいろいろな変化が起こりそうですが、あわてず冷静に判断して対応していきたいものです。

今回原稿を下された方々は、どの方もしっかり目標や目的をもって毎日を過ごされていらっしやるので、編集に携わった私たちも、「がんばらなくては」と元気をいただきました。ご協力どうもありがとうございました。

これからは、自動運転の車が走ったり、iPS細胞が体の一部になったりするなど、科学や医学がどんどん発達して新しい世界が広がっていきます。私たちも健康を維持して、それらを見届けたいものです。

(中川美津恵・金林晶子・室賀幸子)

### 編集後記

会員物故者氏名 (敬称略)  
(H27年11月20日現在)  
謹んでご冥福をお祈りします。

勝山	武生	武生	坂井	大野	武生	三方	吉田	今立	大飯	大飯
笠川	小寺	三上	清水	牧川	土谷	柏原	赤井	國定	時岡	内谷
榮	美保子	正則	達子	正義	孔子	幸子	大樹	雪枝	克己	茂
95	89	87	80	82	85	90	91	90	93	84
27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
10	10	9	9	9	7	7	5	4	3	2
18	3	26	25	21	21	11	12	25	27	18